

一般社団法人 北海道地域農業研究所

会報

地域と農業

第 99 号

Oct.2015

Autumn

観 察 人口減少時代における
北海道農業の振興と地方創生

連 載 わがマチの自慢 ～釧路市



地域と農業 Vol. 99

—目次—

2 **地域農研 NOW** 現在の研究所～会員への情報提供と研究者の支援事業

6 **みる 観** 人口減少時代における北海道農業の振興と地方創生
一般社団法人 北海道地域農業研究所 特別顧問 **竹林 孝**

14 **Essay** 十勝清水町から
清水町担い手支援アドバイザー **上谷 明美**

18 **レポート** 「加工・業務用玉ねぎ」の現状とグリーンズ北見の事業活動
株式会社クリーンズ北見
取締役・営業開発部長 兼 生産管理部長 **後藤 一秀**

26 **連載** わがマチの自慢 No.7 釧路市
一般社団法人 北海道地域農業研究所 特別研究員 **西野 義隆**

30 掲示板・お知らせ・DATA FILE



(表紙) 「イチョウ並木と赤レンガ」

(油彩：F15：652×530mm)

2015年 大坂 雅 博 画

道民に一番人気があるのは「赤レンガ」の絵だと、ある画商が話していた。
昨年、観光名所の北3条広場が周辺を含めて魅力的に整理され、愛称も「アカブラ」となった。イチョウの黄と庁舎の赤、紅葉したもみじ、屋根と空の青。「赤・青・黄」の3原色が揃うと華やかな画面になると言われている。何度か足を運んでいるうちに、この3色が光と陰で変化する様子を表現してみたいと思った。いつも4～5作品を並行して描いているため、本腰を入れたのは今夏からであるが、細部は現場に足を運んで確認しながら、秋らしい空に時間をかけた。

景気の低迷や高齢化・人口減少など、課題の多い北海道だが、この秋は各作物とも豊作が期待できそうである。道外・海外からの観光客も順調に増えて、アカブラでの各種イベントにも活気が感じられる。

紅葉に彩られ食べ物も美味しいこの季節を、地元道民としてゆっくり味わいたいと思う。